

## 「自分なりの専門分野」ができたことが自信に

### ～始まりは「興味のある分野がなかった」～

武山政直研究会 S.Yさん 単独インタビュー

Q：なぜ武山ゼミを選んだのですか？

経済学部に入ったけれども、ミクロやマクロなどのいわゆる「経済っぽい」理論上のことを突き詰めることに実感がもてなくて...**目に見えない理論上のことをやるよりも、もっと具体的なことをやりたい**という風に思っていました。

理論っぽいゼミの名前しか目につかない中で、**ゼミ入試直前の1月くらいに武山ゼミの存在を知って、ふたをあけてみたら、産学連携で実際の企業さんと連携してお題をもらって解決策を考えるという非常に実践的なことをされていたので、リアルな社会をみながら活動できるな**と感じて、受けることを決めました。

Q：武山ゼミに決めたのは結構直前だったのですね！！

そうですね、**やりたいことがずっとわからなくて、なんとなくどこかを受けて終わっちゃうのかなって思っていた**のですが「ここのゼミだ！！」って思って1月に決めました。

Q：それまでの第一回や第二回のゼミ説はどのように参加しましたか？

第一回か第二回かどちらかだけ参加したのですが、その時は、漠然と話を聞いて、漠然とパンフレットをもらって、ブースを多分1,2個だけまわったんですけど、あまり興味をもてなくて、帰りました(笑) そのときにもきくと、武山ゼミもあったと思うんですけど、ゼミがすごく多くて隅々まで見渡す気力もなくて、あと混んでいる会場とかは見向きもせず帰ってしまって、出会えなかったのだと思います。

Q：第三回ゼミ説では??

第一回るときと違って、**パンフレットを隈なく見る**っていうことをしたんですよね。第一回ときは自分が細かくみていなかったみたいで。でも第三回となるともう直前だから、必死になってパンフレットをみて、そうしたら「こんなゼミあるんだあ～」ってなって、ゼミのブースがやっているということで行ってみようかなと。全体説明会のあと最初に武山ゼミに

行ってみたら、「**ここがいい！！**」と思っちゃったので、他はほとんど見ずに、帰りました。

Q：実際に武山ゼミに入られていかがでしたか？

自分が思っていたよりも**実践的**でした！大教室で話をずっと聞いているとか、そういう勉強も大事だとは思いますが、グループ活動がメインなので、すごい**能動的に得ること**が多いです。

それから、大学って一応クラスはあるけれどもそんなに深く関わらずに終わってしまうし、サークルも自分は所属はしていたけれどちょっと事情であまり行けなくなっちゃって、いわゆる高校の時みたいに仲がいい友達とか、よく一緒にいるメンバーみたいなのはなかったんですけど、ゼミではそういう**つながり**もできてすごく良かったです。

Q：周りの武山ゼミ生も能動的な方が多いのでしょうか？

あ～すごく多いですね！意識も高いし、能力も高いし、個性が強い人がすごく多い。自分が頑張りたいことを頑張っている子が多いイメージです！

Q：入ゼミ試験までに実際にどのような準備をしましたか？

武山ゼミの入ゼミ課題はレポートと面接。

特別なことはしていないのですが、私は元々日吉時代に「アカデミックスキルズ」という授業をとっていて、日吉のメディアで学習相談員もしていたので、結果的にはレポートを書くのがけっこう得意で自信があったので、武山ゼミに入りたい！と思った時に課題がレポートだったというのも相まって、「ここにしよう！」というのがありました。それなので、レポートに関しては、形式とかをわざわざ勉強したわけじゃないですけど、中身は結構考えました。**お題がけっこう面白い課題で、考えているのも苦じゃなかったですね。**

面接も、人によっては結構先輩に聞いたりとか、すごい熱心に対策されている方も多かったと思うんですけど、ゼミ説で連絡先を交換したりしている人がいるってことを自分は情報に疎くてあまり知らなくて(笑) 自分は特に対策せずに行ったのですが、すごい和やかな雰囲気、先生も明るく優しくかったので、リラックスして臨めました。

Q：選考過程なども自分自身に合っていたのですね！

そうですね、**そこで3科目テストとかだったら迷っていたかもしれません(笑)**

Q：レポート課題で行ったことと、実際にゼミに入ったあとの活動で共通する部分はありませんか？

そうですね、新しいサービスを考えようっていうことをやっているの**「何か面白いことを考えよう」**という**発想力**はゼミに入ってからすごく使うところですね。

Q：学生生活を振り返って、ゼミはどんな存在でしたか？

勉強した時間が違うので大学院生の能力や専門知識には勝てないとは思っていますが、それでもすごく詳しいってわけじゃなくても、1年生から仲良くしていた違うゼミの子たちよりは自分の方が知っている**「自分なりの専門分野」**ができるっていうのは、すごい自信になるし、就職活動とかでも、自信を持って話せる内容になったので、**すごく自信がつかまりましたね。**

Q：自信が得られたというのが大きいんですね！

そうですね、あと、ゼミに入るまでは就職したい業界とかもわからなかったけれど、直接的にも私はゼミでやっている内容の業界に進むことになったので、**自分が興味のあることを知るきっかけ**にもなりましたね。

Q：就活でもゼミでやってきたことを話しましたか？

ほぼ毎回ゼミでやったことを答えてきました。むしろ、自分はサークルで特別えらい役をやったわけでもなく、学生団体をがんばったわけでもなく、資格をもっているわけでもなく、ほんとに何もなかったの**で、ゼミでやったことがすごく自信になりましたね。**

Q：武山ゼミのアピールポイントを教えてください！

産学連携で、大企業の方とプロジェクトをやることはあまりできない経験だと思います！机の上で勉強しているだけじゃなくて、すごい**実践的な学び**を得られるので、実践的な活動をしてみたい人とか、すごくおすすめだと思います。**グループワーク**で和気あいあいとして活動できるので、つながりを求めている人にもぜひおすすめします。

Q：向いている人はいますか？

もう万人に向いていると思います！（笑）色んな人がいて、個性が強くて、ゼミ以外にも何か頑張っている人が多いです！

Q：1・2年生に対するメッセージをお願いします！

私みたいな人が結構多いかなと思って、ミクロ経済学が興味ある！やりたい！みたいな分野は特にないけれど、、みたいな人がすごくいるかなと思っていて、**なにかちょっと他の人より専門がつく、ってすごい自信がつく**ので、焦らなくていいので、ちょっとでもいいなと思ったゼミの話は聞きに行ってみて、ちょっとでも興味あるなっていう分野を見つけて、勇気をもって入ゼミ試験に臨んでください！

～編集後記～

第2弾となった学生インタビュー企画ですが、今回は「元々興味のある分野ややりたいことがなかった」というS.Y.さんにお話を伺いました。今回のインタビューでは2つのことが印象に残っています。

1つ目は、入ゼミ試験直前まで何が起きるかはわからない、ということです。インタビューを行う前は正直なところ、「第一回入ゼミ説明会からやりたいことがあって、それで希望のゼミが決まって～～」といったお話をされるのではないかと思っていたので、「このゼミに入りたい！」という出会いがあったのが入ゼミ試験直前の1月だと聞き、驚きました。それと同時に、直前までやりたいことがないと思っても、**自分の心に正直に、諦めずに探すのをやめなかった人**には必然的に「出会い」が訪れるのだと感じました。是非、1・2年生の皆さんも**第三回ゼミ説明会の最後まで、粘り強く門を叩いて**もらい、三田での学生生活がより豊かになる素敵な「出会い」があることを願っております。

2つ目は、現状で「やりたいことがない、興味のあることがない」という人こそ、入ゼミを検討すべきだということです。1つの専門分野において、能動的に少人数単位で活動をやり切ったことによって得られる「自信」のお話は、ゼミ活動が始まって間もない3年生による第一回入ゼミ説明会では聞くことのできない貴重なお話だと思います。だからこそ、今後もそのような**「4年生にしか聞けないお話」**をこの企画を通してみなさんに届け、**残りの学生生活をどのように過ごしたいか？自分はどのようなゼミに入りたいか？**自問し、視野が広がるきっかけとなりましたら幸いです。

最後になりましたが、お忙しいところインタビューにご協力いただいたS.Y.さん、本当にありがとうございました。（登内美月）